

※ 資料3-2「2030年以降の社会・現状を見据え解決すべき課題（例）」～「教育政策の基本的な方針（検討の視点案）」のイメージ

- 教育の目指すべき姿、教育政策の基本的な方針（検討の視点案）について、これまでの審議状況を以下のとおり整理
- 今後、内容の充実を図るとともに、教育政策の基本的な方針について検討の視点案を踏まえ整理・集約し、今後5年間の教育の目指すべき方向性等について審議を予定。

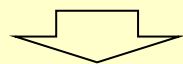
教育の目指すべき姿 ～今こそ教育が果たすべき役割とは何か～

課題を解決し、未来を創造する上で教育の役割は大きい
～2030年以降の社会・現状を見据え解決すべき課題（例）～

○現在の政府の取組

- ・教育再生、地方創生、一億総活躍、働き方改革等

以下の課題の解決に向けて教育再生を更に進める必要



○少子高齢化の進展

○技術革新やグローバル化の進展

○日本の国際社会での相対的地位の低下

○子供の貧困など格差の固定化

○地域間格差の固定化

○家庭や子供の現状と課題

改正教育基本法の基本理念

国際的な教育政策の動向

我が国の教育の「強み」と「弱み」（国際的な視点から）

我が国の教育の「強み」を大切にしつつ、「弱み」を克服

現行計画の成果と課題

現行計画の成果と課題を引き続き検証し、指標の在り方を含めて残された課題を解消

個人

自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成

予測困難な変化の激しい世界において、

- ①変化に適応する
- ②自らが主体的に社会にかかわり、将来を作り出すことができるようになる

⇒自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出せる人材を育成



社会

一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現

- ①年齢、性別、国籍、経済事情など多様な人々の一人一人が幸せに生きる
 - ②社会で自らの役割と責任を果たし、生き生きと活躍できる
- ⇒教育を通じて全ての人々が持つ可能性を開花させることで、一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会を実現



社会（地域・国・世界）の持続的な成長・発展

- ①急激な社会・産業構造の変化に対応する
 - ②少子高齢化の進展に伴う労働人口の減少を克服する
- ⇒我が国の伝統と文化を継承しつつ、教育を通じて個人の資質・能力を最大限伸張し、生産性の向上により経済成長を図るなど、社会（地域・国・世界）を持続的に成長・発展



教育政策の基本的な方針

※今後どのように整理・集約するか検討

検討の視点案

- 全ての人に基礎・基本を保障する
 - ・全ての人に社会に主体的に関わる上で基盤となる資質・能力の育成等
- 新たな価値を創造し、社会をリードする人を育てる
 - ・グローバル社会やイノベーションを牽引する高度人材の育成等
- 生涯学び、活躍できる社会をつくる
 - ・老若男女全ての人々が生涯を通じて学び続け、活躍できる環境の整備
- 多様な人々が協働し、一人一人が活躍できる社会をつくる
 - ・年齢、性別、国籍、経済事情など多様な人材の協働、活躍支援等
- 学校・家庭・地域・企業等が連携・協働して人づくり、地域づくりを進める社会をつくる
 - ・社会総掛かりでの教育の推進、学校を核としたまちづくり、学びを通じた地域づくり等
- 貧困の連鎖を断ち切り、社会の成長・発展につなげる
 - ・貧困による格差の解消に向けた支援等
- 質の高い環境を整える
 - ・教職員指導体制・指導環境の整備、ICTによる学習支援等
- 安全・安心な学びの場をつくる
 - ・学校施設の耐震化・老朽化対策等
- 日本の優れた教育を世界で展開する
 - ・日本の教育の海外展開等